

前 金	部 分 払
有	0 回

令和 3 年 度
北道新補 第 1 号

白山芸濃線道路改良(舗装)工事(その1)設計書

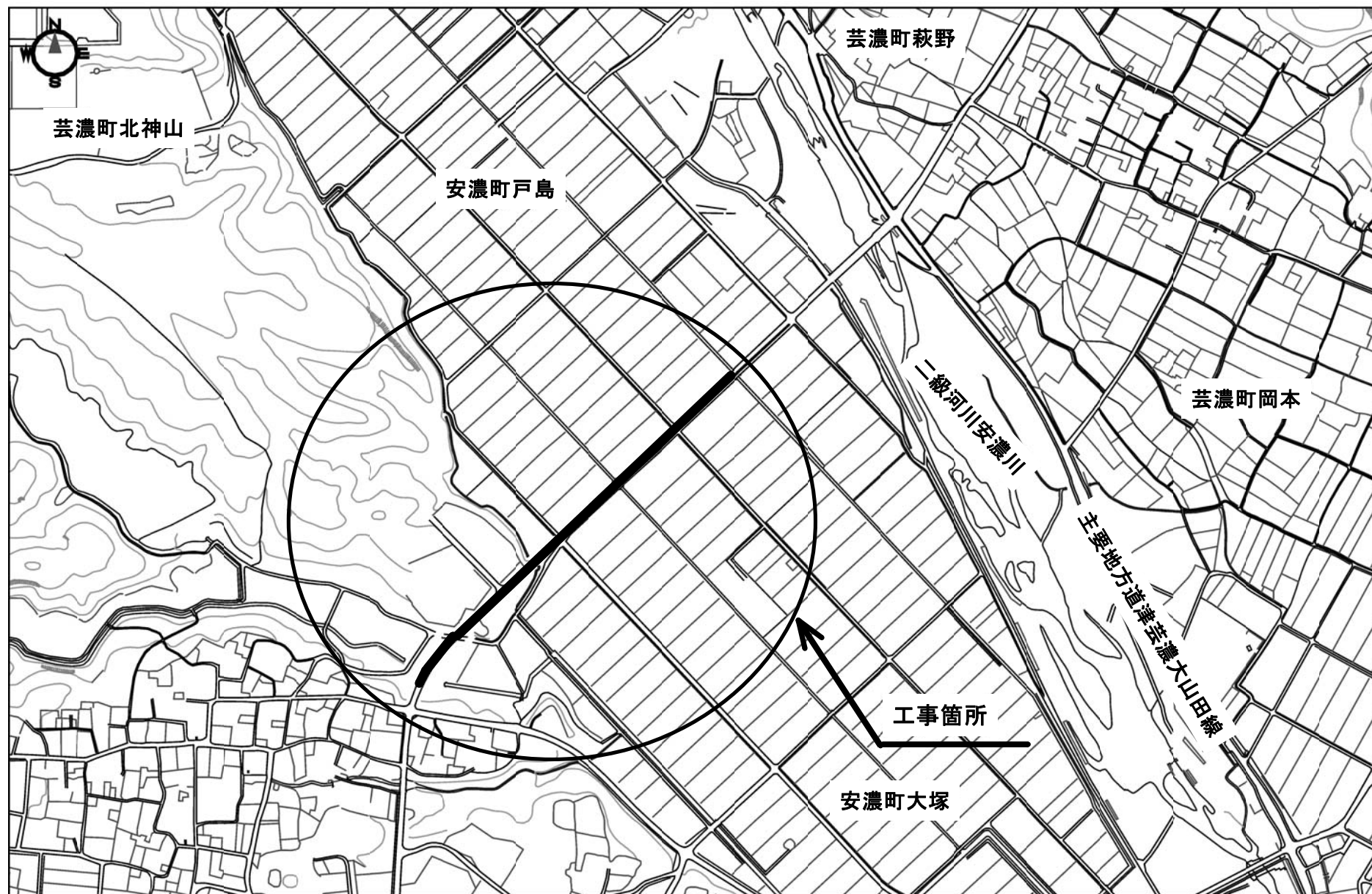
工事仕様は特記以外は三重県公共工事共通仕様書及び工事監督員の指示による。

津 市
建設部津北工事事務所

令和 3 年度		北道新補 第 1 号		工 事 設 計 書	
施工場所		津市安濃町戸島地内		所長	
				担当副参事	
工事名		白山芸濃線道路改良(舗装)工事(その1)		検算者	
				担当主幹	
設計額		(うち消費税等相当額)		担当副主幹	
				設計者	
工 期		令和 3年11月 5日限り			
長	-		巾	-	
工 事 の 大 要					
表層 3, 9 3 0 m 2 基層 3, 9 3 0 m 2 路上路盤再生工 3, 9 3 0 m 2					

位置図

令和3年度北道新補第1号
白山芸濃線道路改良(舗装)工事(その1)



設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費								
01:補助対象工事								
道路修繕				式				
					1.000			
舗装工				式				
					1.000			
路面切削工				式				第 0001 号 明細表
					1.000			
舗装打換え工				式				第 0002 号 明細表
					1.000			
路上路盤再生工				式				第 0003 号 明細表
					1.000			
区画線工				式				
					1.000			
区画線工				式				第 0004 号 明細表
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		仮設工		式				
					1.000			
		交通管理工		式				第 0005 号 明細表
					1.000			
		雑工		式				
					1.000			
		雑工		式				第 0006 号 明細表
					1.000			
02:市単独工事								
	道路修繕			式				
					1.000			
	区画線工			式				
					1.000			
	区画線工			式				第 0007 号 明細表
					1.000			
直接工事費計				式				
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
間接工事費								
共通仮設費								
		運搬費		式				第 9001 号 明細表【合併01】
					1.000			
		技術管理費		式				第 9002 号 明細表【合併01】
					1.000			
		技術管理費		式				第 9003 号 明細表【合併02】
					1.000			
		共通仮設費（率計上額）		式				
					1.000			
共通仮設費計				式				
					1.000			
純工事費				式				
					1.000			
現場管理費				式				
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事原価				式				
					1.000			
一般管理費等				式				
					1.000			
工事価格				式				
					1.000			
消費税及び地方消費税相当額				式				
					1.000			
本工事費計				式				
					1.000			

[補助対象工事]

第 0001 号 明細表 路面切削工					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路面切削(施工パッケージ) 全面切削6cmを超え12cm以下 段差すりつけの撤去有り	m2				CB430010(0001)
		3,930.000			
殻運搬(施工パッケージ)	m3				第0001号施工単価表
		398.000			
殻処分 A s 塊	m3				第0002号施工単価表
		398.000			
合 計					

第 0002 号 明細表 舗装打換え工					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断(施工パッケージ) アスファルト舗装版 15cm以下	m				CB430510(0003)
		13.000			
基層(施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生粗粒度アスファルト混合物 (20)	m2				第0003号施工単価表
		3,930.000			

津市

[補助対象工事]

第 0002 号 明細表 舗装打換え工						1 式
						(上段 : 前回 下段 : 今回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
表層(施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生密粒度アス ファルト混合物 (13)	m2				第0004号施工単価表	
		3,930.000				
合 計						

第 0003 号 明細表 路上路盤再生工						1 式
						(上段 : 前回 下段 : 今回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
路上路盤再生工 セメント安定処理 t=20cm	m2				第0001号単価表	
		3,930.000				
土砂等運搬処理 改良土	m3				第0002号単価表	
		118.000				
合 計						

[補助対象工事]

第 0004 号 明細表 区画線工					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
溶融式区画線(1)	m				第0007号施工単価表
実線 幅 15cm 1.5mm (標準) 白		1,150.000			
溶融式区画線(2)	m				第0008号施工単価表
実線 幅 15cm 1.5mm (標準) 黄(鉛・クロムフリー)		270.000			
溶融式区画線(3)	m				第0009号施工単価表
破線 幅 15cm 1.5mm (標準) 白		170.000			
溶融式区画線(4)	m				第0010号施工単価表
破線 幅 30cm 1.5mm (標準) 白		110.000			
溶融式区画線(5)	m				第0011号施工単価表
矢印・記号・文字 幅 15cm (換算) 1.5mm (標準) 白		180.000			
溶融式区画線(6)	m				第0012号施工単価表
矢印・記号・文字 幅 15cm (換算) 1.5mm (標準) 黄(鉛・クロムフリー)		45.000			
ペイント式区画線(1)	m				第0013号施工単価表
実線 幅 15cm 黄(鉛・クロムフリー) ペイント式(溶剤型) 常温		270.000			
ペイント式区画線(2)	m				第0014号施工単価表
破線 幅 15cm 白 ペイント式(溶剤型) 常温		170.000			

津市

[補助対象工事]

第 0004 号 明細表 区画線工						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計						

第 0005 号 明細表 交通管理工						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員		式				第0015号施工単価表
			1.000			
合 計						

第 0006 号 明細表 雑工						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
地質試験土採取		式				第0003号単価表
			1.000			
合 計						

[補助対象工事]

第 9001 号 明細表 運搬費						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
建設機械運搬費(1)	往路	台				第0019号施工単価表
			1.000			
建設機械運搬費(2)	復路	台				第0020号施工単価表
			1.000			
合 計						

第 9002 号 明細表 技術管理費						1 式
						(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土壌分析費(1)	セメント系固化材	式				第0005号単価表
			1.000			
地質試験費		式				第0006号単価表
			1.000			
合 計						

[市単独工事]

第 0007 号 明細表 区画線工					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
溶融式区画線(1)	m				第0007号施工単価表
実線 幅 15cm 1.5mm (標準) 白		52.000			
合 計					

第 9003 号 明細表 技術管理費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土壌分析費(2)	式				第0007号単価表
セメント系固化材 六価クロム低減用		1.000			
合 計					

殻運搬(施工パッケージ)					第 0001 号 施工単価表 100.000 m3 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬（路面切削）（施工パッケージ）	m3	100.000			CB430020(0002)
合計	m3	100.000			
単位当り	m3	1.000	当り		

殻処分 A s 塊					第 0002 号 施工単価表 1.000 m3 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
建設廃棄物受入れ料金（As塊）	m3	1.000			
合計	m3	1.000			
単位当り	m3	1.000	当り		

基層(施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生粗粒度アスファルト混合物 (20)					第 0003 号 施工単価表 1.000 m2 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基層 (車道・路肩部) (施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生粗粒度アス フルト混合物(20) フライムコート PK-3	m2	1.000			CB410240(0004)
合計	m2	1.000			
単位当り	m2	1.000	当り		

表層(施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生密粒度アスファルト混合物 (13)					第 0004 号 施工単価表 1.000 m2 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層 (車道・路肩部) (施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生密粒度アス フルト混合物(13) タックコート PK-4	m2	1.000			CB410260(0005)
合計	m2	1.000			
単位当り	m2	1.000	当り		

土砂等運搬(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)						第 0005 号 施工単価表 1.000 m3 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土砂等運搬(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1.000			CB210110(0007)	
合計	m3	1.000				
単位当り	m3	1.000	当り			

建設廃棄物受入れ料金 無筋Con塊						第 0006 号 施工単価表 1.000 m3 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
建設廃棄物受入れ料金（無筋Con塊）	m3	1.000				
合計	m3	1.000				
単位当り	m3	1.000	当り			

溶融式区画線(1) 実線 幅 15cm 1.5mm (標準) 白			第 0007 号 施工単価表 1,000.000 m 当り		
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工[溶融式(手動)][供用区間] 実線 15cm、時間的制約 無、機・労 昼間	m	1,000.000			
路面標示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ 含有量15～18% 白 比重2.0	k g	570.000			
接着用プライマー 区画線用 色- 比重0.9	k g	25.000			
ガラスビーズ ガラスビーズ JIS R 3301 1号(0.106～0.850mm)色- 比重-	k g	25.000			
軽油 一般用	L	44.000			
諸雑費	式	1.000			
合計	m	1,000.000			

溶融式区画線(1) 実線 幅 15cm 1.5mm (標準) 白					第 0007 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位当り	m	1.000	当り		

溶融式区画線(2) 実線 幅 15cm 1.5mm (標準) 黄(鉛・クロムフリー)					第 0008 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工[溶融式(手動)][供用区間] 実線 15cm、時間的制約 無、機・労 昼間	m	1,000.000			
路面標示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 鉛・クロムフリー ガラスビーズ含有 量15～18% 黄 比重2.0	k g	570.000			
接着用プライマー 区画線用 色- 比重0.9	k g	25.000			
ガラスビーズ ガラスビーズ JIS R 3301 1号(0.106～0.850mm) 色- 比重-	k g	25.000			
軽油 一般用	L	44.000			

溶融式区画線(2) 実線 幅 15cm 1.5mm (標準) 黄(鉛・クロムフリー)					第 0008 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
諸雑費	式	1.000			
合計	m	1,000.000			
単位当り	m	1.000	当り		

溶融式区画線(3) 破線 幅 15cm 1.5mm (標準) 白					第 0009 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工[溶融式(手動)][供用区間] 破線 15cm、時間的制約 無、機・労 昼間	m	1,000.000			
路面標示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ 含有量15～18% 白 比重2.0	k g	570.000			
接着用プライマー 区画線用 色- 比重0.9	k g	25.000			

溶融式区画線(3) 破線 幅 15cm 1.5mm (標準) 白					第 0009 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ガラスビーズ					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号(0.106～0.850mm)色- 比重-	k g	25.000			
軽油					
一般用	L	49.000			
諸雑費					
	式	1.000			
合計	m	1,000.000			
単位当り	m	1.000	当り		

溶融式区画線(4) 破線 幅 30cm 1.5mm (標準) 白					第 0010 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工[溶融式(手動)][供用区間]					
破線 30cm、時間的制約 無、機・労 昼間	m	1,000.000			

溶融式区画線(4) 破線 幅 30cm 1.5mm (標準) 白			第 0010 号 施工単価表 1,000.000 m 当り		
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路面標示用塗料 3種1号					
JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ 含有量15～18% 白 比重2.0	k g	1,130.000			
接着用プライマー					
区画線用 色- 比重0.9	k g	50.000			
ガラスビーズ					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号(0.106～0.850mm)色- 比重-	k g	50.000			
軽油					
一般用	L	80.000			
諸雑費					
	式	1.000			
合計	m	1,000.000			
単位当り	m	1.000	当り		

溶融式区画線(5) 矢印・記号・文字 幅 15cm (換算) 1.5mm (標準) 白					第 0011 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工[溶融式(手動)][供用区間]					
矢印・記号・文字 15cm、時間的制約 無、機・労 昼間	m	1,000.000			
路面標示用塗料 3種1号					
JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ 含有量15～18% 白 比重2.0	k g	570.000			
接着用プライマー					
区画線用 色- 比重0.9	k g	25.000			
ガラスビーズ					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号(0.106～0.850mm)色- 比重-	k g	25.000			
軽油					
一般用	L	110.000			
諸雑費					
	式	1.000			
合計	m	1,000.000			

溶融式区画線(5) 矢印・記号・文字 幅 15cm (換算) 1.5mm (標準) 白					第 0011 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位当り	m	1.000	当り		

溶融式区画線(6) 矢印・記号・文字 幅 15cm (換算) 1.5mm (標準) 黄(鉛・クロムフリー)					第 0012 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工[溶融式(手動)][供用区間]					
矢印・記号・文字 15cm、時間的制約 無、機・労 昼間	m	1,000.000			
路面標示用塗料 3種1号					
JIS K 5665 溶融 鉛・クロムフリー ガラスビーズ含有量15～18% 黄 比重2.0	k g	570.000			
接着用プライマー					
区画線用 色- 比重0.9	k g	25.000			
ガラスビーズ					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号(0.106～0.850mm) 色- 比重-	k g	25.000			
軽油					
一般用	L	110.000			

溶融式区画線(6) 矢印・記号・文字 幅 15cm (換算) 1.5mm (標準) 黄(鉛・クロムフリー)					第 0012 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
諸雑費	式	1.000			
合計	m	1,000.000			
単位当り	m	1.000	当り		

ペイント式区画線(1) 実線 幅 15cm 黄(鉛・クロムフリー) ペイント式(溶剤型) 常温					第 0013 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工[ペイント式(車載式)][供用区間] 実線 15cm、時間的制約 無、機・労 昼間	m	1,000.000			
路面標示用塗料 1種B JIS K 5665 常温 鉛・クロムフリー 黄 比重1.5	L	50.000			
ガラスビーズ ガラスビーズ JIS R 3301 1号(0.106～0.850mm) 色- 比重-	k g	39.000			

ペイント式区画線(1) 実線 幅 15cm 黄(鉛・クロムフリー) ペイント式(溶剤型) 常温					第 0013 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
軽油 一般用	L	34.000			
諸雑費	式	1.000			
合計	m	1,000.000			
単位当り	m	1.000	当り		

ペイント式区画線(2) 破線 幅 15cm 白 ペイント式(溶剤型) 常温					第 0014 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工[ペイント式(車載式)][供用区間] 破線 15cm、時間的制約 無、機・労 昼間	m	1,000.000			
路面標示用塗料 1種B JIS K 5665 常温 白 比重1.5	L	50.000			

ペイント式区画線(2) 破線 幅 15cm 白 ペイント式(溶剤型) 常温					第 0014 号 施工単価表 1,000.000 m 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ガラスビーズ					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号(0.106～0.850mm)色- 比重-	k g	39.000			
軽油					
一般用	L	41.000			
諸雑費					
	式	1.000			
合計	m	1,000.000			
単位当り	m	1.000	当り		

交通誘導警備員					第 0015 号 施工単価表 1.000 式 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員 B					
	人				

交通誘導警備員					第 0015 号 施工単価表 1.000 式 当り	
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
合計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

残土等処分(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 4 km					第 0016 号 施工単価表 1.000 m3 当り	
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土砂等運搬(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1.000			CB210110(0011)	
合計	m3	1.000				
単位当り	m3	1.000	当り			

基層(施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生粗粒度アスファルト混合物 (20)					第 0017 号 施工単価表 1.000 m2 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基層 (車道・路肩部) (施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生粗粒度アス フルト混合物(20) フライムコート PK-3	m2	1.000			CB410240(0012)
合計	m2	1.000			
単位当り	m2	1.000	当り		

表層(施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生密粒度アスファルト混合物 (13)					第 0018 号 施工単価表 1.000 m2 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層 (車道・路肩部) (施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生密粒度アス フルト混合物(13) タックコート PK-4	m2	1.000			CB410260(0013)
合計	m2	1.000			
単位当り	m2	1.000	当り		

建設機械運搬費(1) 往路				第 0019 号 施工単価表 1.000 台 当り		
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
トレーラ	台	1.000				
合計	台	1.000				
単位当り	台	1.000	当り			

建設機械運搬費(2) 復路				第 0020 号 施工単価表 1.000 台 当り		
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
トレーラ	台	1.000				
合計	台	1.000				
単位当り	台	1.000	当り			

SJ0020 路上路盤再生工 セメント安定処理 t=20cm		第 0001 号単価表 100 m2 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
セメント系固化材 発塵抑制型(ユースタビライザーS1同等品以上)	t	1.710			
スタビライザ運転費【基準】	日				第0001号運転単価表
モータグレーダ運転費【基準】	日				第0002号運転単価表
ロードローラ運転費【基準】	日				第0003号運転単価表
タイヤローラ運転費(賃料)【基準】	日				第0004号運転単価表
諸雑費	式	1.000			

SJ0020 路上路盤再生工 セメント安定処理 t=20cm		第 0001 号単価表 100 m2 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計	m2	100.000			
単位当り	m2	1.000	当り		

SJ0040 土砂等運搬処理 改良土		第 0002 号単価表 10 m3 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
積込（ルーズ）（施工パッケージ） 土砂	m3	10.000			CB210020(0006)
土砂等運搬（施工パッケージ） 土砂（岩塊・玉石混り土含む）	m3	10.000			第0005号施工単価表
建設廃棄物受入れ料金 無筋C o n 塊	m3	10.000			第0006号施工単価表
合 計	m3	10.000			
単位当り	m3	1.000	当り		

SJ0080 地質試験土採取					第 0003 号単価表 1 式 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断(施工パッケージ) アスファルト舗装版 15cm以下	m	16.000			CB430510(0003)
舗装版破碎(施工パッケージ)	m2	4.000			CB210720(0008)
殻運搬(施工パッケージ)	m3	0.400			第0001号施工単価表
殻処分 A s 塊	m3	0.400			第0002号施工単価表
床掘り(施工パッケージ) 土砂	m3	4.800			CB210030(0009)
埋戻し RC-40	m3	4.800			第0004号単価表
残土等処分(施工パッケージ) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 4 km	m3	4.800			第0016号施工単価表
基層(施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生粗粒度アス ファルト混合物 (20)	m2	4.000			第0017号施工単価表

SJ0080 地質試験土採取					第 0003 号単価表 1 式 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(施工パッケージ) 1層当り平均仕上り厚 50 mm 再生密粒度アス ファルト混合物 (13)	m2	4.000			第0018号施工単価表
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

S0200 埋戻し RC-40					第 0004 号単価表 10 m3 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し(施工パッケージ) 土砂	m3	10.000			CB210410(0010)
再生クラッシャーラン R C - 40	m3	12.000			
合 計	m3	10.000			
単位当り	m3	1.000	当り		

SJ0050 土壌分析費(1) セメント系固化材		第 0005 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験	試料	1.000			
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

SJ0070 地質試験費		第 0006 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
室内C B R用試料採取 変状土 70kg採取	箇所	4. 000			
変状土C B R 試験 設計C B R 2モーロード	試料	6. 000			
土の粒度試験 ふるい分析試料 2～4kg未満	試料	2. 000			
合 計	式	1. 000			
単位当り	式	1. 000	当り		

SJ0060 土壌分析費(2) セメント系固化材 六価クロム低減用		第 0007 号単価表 1 式 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験	試料	1.000			
合 計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

施工パッケージ単価一覧表						
単価コード	施工名称	単位	標準単価	積算単価	条件名称	条件値
CB430010(0001)	路面切削(施工パッケージ)	m2			施工区分・平均切削深さ	全面切削6cmを超え12cm以下
					段差すりつけの撤去作業	段差すりつけの撤去有り
CB430020(0002)	殻運搬(路面切削)(施工パッケージ)	m3				
CB430510(0003)	舗装版切断(施工パッケージ)	m			舗装版種別	アスファルト舗装版
					アスファルト舗装版厚	15cm以下
CB410240(0004)	基層(車道・路肩部)(施工パッケージ)	m2			1層当り平均仕上り厚(mm)	1層当り平均仕上り厚 50 mm
					材料	再生粗粒度アスコン(20)
					瀝青材料種類	プライムコート PK-3
CB410260(0005)	表層(車道・路肩部)(施工パッケージ)	m2			1層当り平均仕上り厚(mm)	1層当り平均仕上り厚 50 mm
					材料	再生密粒度アスコン(13)
					瀝青材料種類	タックコート PK-4
CB210020(0006)	積込(ルーズ)(施工パッケージ)	m3			土質	土砂
CB210110(0007)	土砂等運搬(施工パッケージ)	m3			土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)
CB210720(0008)	舗装版破碎(施工パッケージ)	m2				

施工パッケージ単価一覧表						
単価コード	施工名称	単位	標準単価	積算単価	条件名称	条件値
CB210030(0009)	床掘り(施工パッケージ)	m3			土質	土砂
CB210410(0010)	埋戻し(施工パッケージ)	m3			土質区分	土砂
CB210110(0011)	土砂等運搬(施工パッケージ)	m3			土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)
CB410240(0012)	基層(車道・路肩部)(施工パッケージ)	m2			1層当り平均仕上り厚(mm)	1層当り平均仕上り厚 50 mm
					材料	再生粗粒度アスコン(20)
					瀝青材料種類	プライムコート PK-3
CB410260(0013)	表層(車道・路肩部)(施工パッケージ)	m2			1層当り平均仕上り厚(mm)	1層当り平均仕上り厚 50 mm
					材料	再生密粒度アスコン(13)
					瀝青材料種類	タックコート PK-4

スタビライザ運転費【基準】					第 0001 号 運転単価表 1.000 日 当り	
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
特殊運転手	人					
軽油 一般用	リットル					
スタビライザ機械損料	供用日					
諸雑費	式	1.000				
合計	日	1.000				
単位当り	日	1.000	当り			

モータグレーダ運転費【基準】					第 0002 号 運転単価表
					1.000 日 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊運転手	人				
軽油 一般用	リットル				
モータグレーダ機械損料 排出ガス対策型	供用日				
諸雑費	式	1.000			
合計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

ロードローラ運転費【基準】					第 0003 号 運転単価表 1.000 日 当り	
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
特殊運転手	人					
軽油 一般用	リットル					
ロードローラ機械損料 排出ガス対策型	供用日					
諸雑費	式	1.000				
合計	日	1.000				
単位当り	日	1.000	当り			

タイヤローラ運転費(賃料)【基準】					第 0004 号 運転単価表
					1.000 日 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊運転手	人				
軽油 一般用	リットル				
タイヤローラ賃料 排出ガス対策型	供用日				
諸雑費	式	1.000			
合計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

令和3年度 北道新補第1号
白山芸濃線道路改良(舗装)工事(その1)

数 量 総 括 表

(補助対象工事)

レベル1 : 道路修繕

レベル1 : 共通仮設

工 事 数 量 総 括 表							
							(補助対象工事)
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
道路修繕					式		
						1	
	舗装工				式		
						1	
		路面切削工			式		
						1	
			路面切削	t=10cm	m2		
						3,930	
			殻運搬	As殻	m3		
						398	
			殻処分	As殻	m3		
						398	
		舗装打換え工			式		
						1	
			舗装版切断	As版	m		
						13	
			基層	再生粗粒度As (20) t=5cm	m2		
						3,930	
			表層	再生密粒度As (13) t=5cm	m2		
						3,930	
		路上再生工			式		
						1	
			路上路盤再生工	セメント安定処理 混合深さt=20cm	m2		発塵抑制型 ユースタビラーS-パター-S1同等品以上
						3,930	
			土砂等運搬処理	改良土	m3		
						118	
	区画線工				式		
						1	
		区画線工			式		
						1	

工 事 数 量 総 括 表							
							(補助対象工事)
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			溶融式区画線(1)	白色 実線 W=15cm	m	1,150	
			溶融式区画線(2)	黄色 実線 W=15cm	m	270	
			溶融式区画線(3)	白色 破線 W=15cm	m	170	
			溶融式区画線(4)	白色 破線 W=30cm	m	110	
			溶融式区画線(5)	白色 文字・記号 W=15cm換算	m	180	
			溶融式区画線(6)	黄色 文字・記号 W=15cm換算	m	45	
			ペイント式区画線(1)	黄色 実線 W=15cm	m	270	
			ペイント式区画線(2)	白色 破線 W=15cm	m	170	
	仮設工				式	1	
		交通管理工			式	1	
			交通誘導警備員	(B)	式	1	N=72人
	雑工				式	1	
		雑工			式	1	
			地質試験土採取		式	1	
共通仮設					式	1	

工 事 数 量 総 括 表							
							(補助対象工事)
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
	共通仮設費				式	1	
		運搬費			式	1	
			建設機械運搬費(1)	往路 路面切削機	台	1	
			建設機械運搬費(2)	復路 路面切削機	台	1	
		技術管理費			式	1	
			土壌分析費(1)	環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験	式	1	セメント系固化材
			地質試験費		式	1	

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
舗装工	路面切削工	路面切削	As t=10cm ※別紙「面積計算書」より A= 2,882.0 + 1,048.0 = 3,930.0	m2	3,930.0
		殻運搬	V1= 3,930.0 × 0.10 = 393.0 擦り付け撤去部 単位数量計算書より V2= 5.0 V=V1+V2 = 398.0	m3	398.0
		殻処分	殻運搬より V= 398.0	m3	398.0
	舗装打換え工	舗装版切断	As t=10cm L= 6.55 + 6.55 = 13.1	m	13.1
		基層	再生粗粒度As(20) t=5cm ※別紙「面積計算書」より A= 2,882.0 + 1,048.0 = 3,930.0	m2	3,930.0
		表層	再生密粒度As(13) t=5cm ※別紙「面積計算書」より A= 2,882.0 + 1,048.0 = 3,930.0	m2	3,930.0
	路上再生工	路上路盤再生工	セメント安定処理 t=20cm ※別紙「面積計算書」より A= 2,882.0 + 1,048.0 = 3,930.0	m2	3,930.0
		土砂等運搬処理	改良土 V= 3,930.0 × 0.20 × 0.15 = 117.9	m3	117.9

数 量 計 算 書						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
区画線工	区画線工	溶融式区画線 (1)	白色 実線 W=15cm L= 152.6 + 101.8 + 207.1 + 103.0 + 272.1 + 205.0 + 104.8 = 1,146.4	m	1,146.4	
		溶融式区画線 (2)	黄色 実線 W=15cm L= 265.4 = 265.4	m	265.4	
		溶融式区画線 (3)	白色 破線 W=15cm L= 167.4 = 167.4	m	167.4	
		溶融式区画線 (4)	白色 破線 W=30cm L= 54.0 + 54.0 = 108.0	m	108.0	
		溶融式区画線 (5)	白色 文字・記号 W=15cm換算 L= 121.5 × 1.2 + 6.8 × 5.0 = 179.8	m	179.8	
		溶融式区画線 (6)	黄色 文字・記号 W=15cm換算 L= 18.6 × 1.2 2.0 = 44.6	m	44.6	
		ペイント式区画線 (1)	黄色 実線 W=15cm L= 265.4 = 265.4	m	265.4	
		ペイント式区画線 (2)	白色 破線 W=15cm L= 167.4 = 167.4	m	167.4	

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
仮設工 雑工 共通仮設費	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員 (B) N= 1.0	= 1.0 式	1.0
	雑工	地質試験土採取		= 1.0 式	1.0
	運搬費	建設機械運搬費 (1)	路面切削機 往路 N= 1.0	= 1.0 台	1.0
		建設機械運搬費 (2)	路面切削機 復路 N= 1.0	= 1.0 台	1.0
	技術管理費	土壌分析費 (1)	環境庁告示第46号溶出試験 N= 1.0 ※ 六価クロム溶出試験 セメント系固化材 (N= 1.0 資料)	= 1.0 式	1.0
		地質試験費	N= (N= 4.0 資料)	= 1.0 式	1.0

面積計算書

路面切削・路上路盤再生工・基層・表層

測点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (m2)	測点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (m2)
自 : No. 0		6.55		自 : No. 11		6.55	
至 : No. 1	40.0	6.55	262.0	至 : No. 12	40.0	6.55	262.0
自 : No. 1		6.55		自 : No. 12		6.55	
至 : No. 2	40.0	6.55	262.0	至 : No. 13	40.0	6.55	262.0
自 : No. 2		6.55		自 : No. 13		6.55	
至 : No. 3	40.0	6.55	262.0	至 : No. 14	40.0	6.55	262.0
自 : No. 3		6.55		自 : No. 14		6.55	
至 : No. 4	40.0	6.55	262.0	至 : No. 15	40.0	6.55	262.0
自 : No. 4		6.55		自 :			
至 : No. 5	40.0	6.55	262.0	至 :			
自 : No. 5		6.55		自 :			
至 : No. 6	40.0	6.55	262.0	至 :			
自 : No. 6		6.55		自 :			
至 : No. 7	40.0	6.55	262.0	至 :			
自 : No. 7		6.55		自 :			
至 : No. 8	40.0	6.55	262.0	至 :			
自 : No. 8		6.55		自 :			
至 : No. 9	40.0	6.55	262.0	至 :			
自 : No. 9		6.55		自 :			
至 : No. 10	40.0	6.55	262.0	至 :			
自 : No. 10		6.55		自 :			
至 : No. 11	40.0	6.55	262.0	至 :			
小 計	440.0		2,882.0		160.0		1,048.0

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

補助対象工事

細別	地質試験費		1式	細別	地質試験土採取		1式
規格			当り	規格	既設舗装厚、表層t=50、基層t=50		当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
室内CBR用 試料採取	N= 4.0	箇所	4.0	舗装版切断	L= 1.0 × 4.0 × 4.0 = 16.0	m	16.0
変状土CBR 試験	N= 6.0	試料	6.0	舗装版破碎 積込	A= 1.0 × 1.0 × 4.0 = 4.0	m ²	4.0
土の粒度試験	N= 2.0	試料	2.0	殻運搬	V= 4.0 × 0.1 = 0.4	m ³	0.4
				殻処分	V= 0.4 = 0.4	m ³	0.4
				床掘り	V= 1.0×1.0× 1.2 × 4.0 = 4.8	m ³	4.8
				埋戻し	V= 1.0×1.0× 1.2 × 4.0 = 4.8	m ³	4.8
				残土等処分	V= = 4.8	m ³	4.8
				基層	A= 1.0 × 1.0 × 4.0 = 4.0	m ²	4.0
				表層	A= 1.0 × 1.0 × 4.0 = 4.0	m ²	4.0

雑 工 単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	擦付け舗装（参考）		1式	細別			
規格	再生密粒度As(13) t=0～5cm		当り	規格			当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
	起終点(10箇所)：W=1.00、L=3.275 V= 1.00 × 0.05 ÷ 2.00 × 3.275 × 10.0 = 0.8 縦断：W=0.25、L=600.0 V= 0.25 × 0.05 ÷ 2.00 × 600.0 = 3.8 支道：W=0.25 L= 25.50 + 7.60 + 14.50 + 8.20 + 5.00 = 60.8 V= 0.25 × 0.05 ÷ 2.00 × 60.8 = 0.4						
殻運搬	V= 0.8 + 3.8 + 0.4 = 5.0	m3	5.0				
殻処分	V= 0.8 + 3.8 + 0.4 = 5.0	m3	5.0				

令和3年度 北道新補第1号
白山芸濃線道路改良(舗装)工事(その1)

数 量 総 括 表

(市単独工事)

レベル1 : 道路修繕

レベル1 : 共通仮設

工 事 数 量 総 括 表							
							(市単独工事)
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
道路修繕					式	1	
	区画線工				式	1	
		区画線工			式	1	
			溶融式区画線(1)	白色 実線 W=15cm	m	52	
共通仮設					式	1	
	共通仮設費				式	1	
		技術管理費			式	1	
			土壌分析費(2)	環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験	式	1	六価クロム低減型セメント系固化材

数 量 計 算 書					
(市単独工事)					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
区画線工	区画線工	溶融式区画線(1)	白色 実線 W=150 L= 15.6 + 16.4 + 4.8 + 3.4 + 3.4 + 3.4 + 1.0 + 1.5 + 1.0 + 1.0 = 51.5	m	51.5
共通仮設費	技術管理費	土壌分析費(2)	環境庁告示第46号溶出試験 N= 1.0 = 1.0 ※ 六価クロム溶出試験 六価クロム低減型セメント系固化材 (N= 1.0 資料)	式	1.0

特記仕様書（共通編）

No.1

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
共通	共通	☒ 本工事の施工にあたっては、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に準じて行うものとする。 ☒ 津市工事請負契約約款、図面及び別紙特記仕様書（施工条件明示一覧表）並びに特記事項は、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に優先する。 ☒ 本工事はすべて設計図書（図面、仕様書並びに現場説明書及び現場説明に対する質問解答書を含む）によるほか、津市契約規則及び津市建設工事執行規則により執行する。 ☒ 設計図書において疑義が生じた場合は監督員の指示による。
	施工計画	☒ 品質及び出来形の基準値・規格値について、三重県公共工事共通仕様書で定めのない工種は、監督員との協議による。 ☐ 選任を必要とする作業においては、作業主任者等を配置し、必要な資格者一覧を作成するとともに免許の写しを提出するものとする。 ☒ 工事中の安全確保のため、労働安全に結びつく労働者が保有する資格者（クレーン運転士、玉掛作業者など）の一覧を作成しその資格証の写しを提出するものとする。
	施工体制台帳	☒ 受注者は工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出すること。
	工事測量	☒ 施工前に、基準点、KBM、縦横断面及び工事区間内における境界の確認測量を行い、その結果、設計図書と差異が生じている場合には監督員に報告するものとする。 ☐ 工事区間内の境界は、受注者の責任において原形復旧できる資料を作成、保存し、調査資料は監督員へ1部提出するものとする。
	施工	☒ 契約書、設計書及び仕様書に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担で処理するものとする。 ☐ 工事中（養生中を含む）の隣接家屋の乗り入れについては、所有者と十分に協議の上、必要に応じ、鉄板等にて対応するものとする。 ☐ 排水構造物の施工については、常時通水可能な状態を確保し、異常時には臨機の措置を講じるものとする。
工程	工程	☒ 本工事の工期は、休日、雨天のほか、社会的制約条件による要因を考慮してのものである。
	関係機関協議	☐ 施工前、ゴミ置場等施工上移設が生じる場合は、所有者、関係自治会等調整し移設場所を確定し、回覧等により周知徹底を行うものとする。他の物件で移設が生じる場合も、同様の扱いとする。 ☒ 受注者は、工事着手前はもとより、工事期間中を通じて、必要の都度、工事内容を地元住民及び通行人等関係者に周知し、工事への協力を求めるための文書を配布するなど必要な措置を講ずるものとする。 ☐ 地下埋設物の対応について、各管理者と監督員の立会のもと、試掘調査を行うものとする。 ☒ 施工箇所付近に占用物件が予想される場合には、工事施工に先立って地下埋設（上空占用を含む）の詳細情報を関係機関から調査収集し、受注者より各管理者と現地立会を行うなど、施工に際し十分に協議確認を行うものとする。 ☒ 地下埋設物及び上空占用物を誤って切断した場合の緊急時の対策として、必ず監督員まで詳細を報告し、速やかに関係機関へ連絡を取るとともに周辺住民に対しても適切な処置を行うものとする。 ☒ 他の工事等と重複する場合も考えられるため、施工時期や交通規制等に綿密な調整を図り、十分な配慮をもって施工するものとする。
	官公庁への手続き等	☒ 交通障害に伴う道路使用許可の手続き、消防への工事届け等を速やかに行うものとする。なお、道路使用許可申請にかかる手数料は、受注者の負担とする。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和3年4月

特記仕様書（共通編）

No.2

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
用地・補償関係	事業損失	☐ 家屋事前調査は、調査前に対象住民への周知を行い、調査後に工事着手するものとする。 ☒ 受注者の責における金銭的補償等は、受注者の責任において適切に処理するものとする。補償対象者より領収書、承諾書等を徴収し、監督員に報告するものとする。ただし、その内容によっては、市と受注者が協議し、市が処理する場合もある。
	民地の保全	☒ 官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、紙、プレート等）が発見された場合は、施工前に監督員に報告するものとする。 ☒ 工事により境界杭等が破損、亡失した場合は、工事完了後復元を行うものとする。その際には、関係者と立会、承認を得るものとする。
安全対策	工事中の安全確保	☐ 施工箇所において、通学路であった場合は、対象の学校と十分協議をし、工程の調整を図るものとし、通学者の安全を確保するものとする。 ☒ 資機材の搬出入と通行時間は適切な時間帯に行い、沿線住民等への周知を図るものとする。これにより難い場合は、関係自治会等と協議を行うものとする。 ☐ 地山掘削・床掘時は、既設構造物に損傷が出ないように、適切な措置を行うものとする。また、万が一損傷を与えた場合には、受注者の責において対処するものとする。 ☐ 図示してある掘削及び床掘については、計算用に用いた線であり、施工段階では各安全法令を遵守し施工状況、地下水等を考慮し現場にあわせた勾配等、対策を講じて施工するものとする。 ☒ 工種（全工種）について、施工日の即日開放を原則とする。 ☐ 工種（）について、事前に（警察署）と立会を行い、確認後、施工を行うものとする。 ☒ 現場にて使用する各種建設機械は、持込者や点検・整備・維持管理状況が把握できるよう、受注者において書類により整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。 ☐ 現場において設置する仮設工は、設置完了時や使用中の点検及び管理についてチェックリスト等を活用して実施・整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。 ☒ 現場代理人は、豪雨、出水、その他の天災に対しては、平素から気象情報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をしておくものとする。 ☒ 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物が無いよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所はその日のうちに補修を行うものとする。
	交通安全管理	☒ 工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差道路に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者（以下「交通誘導警備員」という）を配置し、公衆の交通の安全を確保するものとする。 ☒ 交通誘導警備員のうち1人は有資格者（平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかる1級又は2級検定合格者）または、交通の誘導・整理の実務経験3年以上の者を配置するものとする。 ☒ 受注者は、交通誘導警備員を雇用するにあたり、その警備会社と雇用期間中等労働条件並びに傷害保険等に関する契約書を締結し、その契約書（写し）を監督員に提出すること。また、交通誘導警備員の配置者一覧表（資格・実務経験年数を明示したもの）及び配置者名の明記された伝票を監督員へ提示するものとする（但し、監督員が提出を求めた場合は提出するものとする）。 ☒ 交通誘導警備員に一日一日の工事（どこまで進入できるか等）を十分把握させ、地元車両の出入り等、交通整理に円滑な処置がとれるようにするものとする。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和3年4月

特記仕様書（共通編）

No.3

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
環境対策	環境対策	☒ 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。 ☐ 土粒子を多量に含み、排水施設等に悪影響を及ぼすと考えられる放流については、沈砂または濾過施設を通して放流するものとする。 ☒ 受注者は産業廃棄物の処理を委託する際、運搬については産業廃棄物収集運搬業者等と、処分については産業廃棄物処分業者等と、それぞれ個別に直接契約し、その契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提示もしくは提出すること。 ☒ 廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）は産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供し、また受注者は、処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員が提示を求めた場合は提示するものとする。
資料作成	提出書類	☒ 工事日誌については、監督員が指示した場合、提出するものとする。 ☒ 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4） ☒ 工事完成報告書の提出部数は2部とする。 ☒ 受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する資料を受注者の責任と費用負担において整備し、使用前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。 ・アスファルト混合物（事前認定審査を受けた混合物の認定書の写し）、生コンクリート（製造会社の材料試験結果、配合の決定に関する確認資料）、購入土、碎石（新材）等 ※その他材料に関する資料についても原則、全て提出するものとするが、主たる材料以外で使用量が少量の場合は資料の提出について監督員と協議できるものとする。
	部分下請負通知書	☒ 受注者は、工事の一部分において下請負させる場合は、全て部分下請負通知書を当該下請負業者の施工開始日までに監督員に提出するものとする。部分下請負通知書には下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。 ☒ 特定建設業者で下請負金額の総額が、建設業法第3条第1項第2号の政令で定める金額以上の場合、受注者は、本工事をつかさどる監理技術者の資格証明書の写しを提出するものとする。
支払いに関する事項	前金支払いに関する事項	☒ 請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときは、契約金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いするものとする。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和3年4月

特記仕様書（共通編）

No.4

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
その他	名札	☒受注者は、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。 <名札の例> 主任・監理技術者 写真 2cm×3cm 程度 氏名 ○○ ○○ 工事名 ○○○○工事 工期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日 会社 ○○建設株式会社 印 注１）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 注２）所属会社の社印とする。
	部分使用	☐部分使用箇所（ ） ☐部分使用時期（ ） ☐部分使用目的（ ）
	部分引渡し	☐部分引渡し指定部分（ 別途説明書に記載 ） ☐部分引渡し時期（ ）
	巡回	☒当工事(修繕)は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等を行う現場パトロールを行うことがある。
	その他	☐

(注) 上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和3年4月

特 記 仕 様 書 （道路工事編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）												
その他		☒ 施工時及び工事区間外走行時等の防塵対策については、周囲に影響が及ぼさないように対策を適時行い、通行に対し十分配慮すること。 ☒ 【セメント安定処理工】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">土質</th> <th style="width: 15%;">設計CBR (%)</th> <th style="width: 15%;">改良深さ (cm)</th> <th style="width: 15%;">使用量 (kg/m³)</th> <th style="width: 15%;">仕上げ層数 (層)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">路床</td> <td style="text-align: center;">砂質土</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">85.5</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> </tr> </tbody> </table> 添加材 セメント系固化材（発塵抑制型） ユースタビラースーパーS1同等品以上 添加量1,710kg/100m²（ロス率を含む）		土質	設計CBR (%)	改良深さ (cm)	使用量 (kg/m ³)	仕上げ層数 (層)	路床	砂質土	3	20	85.5	1.00
	土質	設計CBR (%)	改良深さ (cm)	使用量 (kg/m ³)	仕上げ層数 (層)									
路床	砂質土	3	20	85.5	1.00									

(注) 上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
 令和3年4月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.1

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工 程 関 係	☐ 別途工事との工程調整が必要あり (別途工事名:) ☒ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり ☐ 工期 ☐ 他機関との協議が未完了 ☐ 占用物件との工程調整の必要あり ☒ その他(地質試験の施工時期)	☐ 調整項目 (☐ 資材等の流用 ☐ 仮設及び工事用道路等の調整 ☐ 建設機械等の調整) ☐ 施工順序の調整 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☒ 制限する工種名 (舗装工) 施工時期及び施工時間 () 施工方法 (路面切削～路上路盤再生工～基層は一連の流れで施工するものとし、作業時以外は交通開放すること。) ☐ 工期は、繰越手続が完了後、(年 月 日) までに変更します。 ☐ 協議が必要な機関名 () 協議完了見込み時期 () ☐ 占用物件名 (☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ その他 ()) ☒ その他(地質試験を第一に行い、結果を監督員に報告すること。)
用 地 関 係	☐ 用地補償物件の未処理箇所あり ☐ 仮設ヤードの有無 ☐ その他 ()	☐ 未処理箇所 (☐ 別添図等 ☐ Na ~Na ☐ 別途協議) ☐ 完了見込み時期 (令和 年 月 頃 ☐ 別途協議) ☐ 仮設ヤード (☐ 官有地 ☐ 民有地 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 仮設ヤード使用期間 () ☐ 仮設ヤードからの運搬距離 (L = km) ☐ 使用条件・復旧方法 () ☐ その他 ()
公害対策関係	☒ 施工方法の制限あり ☐ 事業損失防止に関する調査あり ☐ その他 ()	☒ 制限項目 (☐ 騒音 ☐ 振動 ☐ 水質 ☐ 粉じん ☒ 排出ガス ☐ その他 ()) ☐ 施工方法等 (☐ 指定工法名 () ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 施工時期 () ☐ 調査項目 (☐ 騒音測定 ☐ 振動測定 ☐ 水質調査 ☐ 近接家屋の事前・事後調査 ☐ 地盤沈下測定) ☐ 地下水位等の測定 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 調査方法 (☐ 別途資料 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ その他 ()
安全対策関係	☒ 交通安全施設等の指定あり ☒ 近接施設等に対する制限 ☐ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり ☒ 現場での安全確保 (自主施工の原則) ☒ 事故連報の提出 ☐ その他 ()	☒ 交通安全施設等の配置 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☒ 別途協議) ☒ 交通誘導警備員の配置 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☒ 別途協議) ☐ 指定路線 ☒ 指定路線以外 ☒ 交通誘導警備員の配置人員数 ☒ 概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員 A： 0 人 B： 72 人 (注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。) ② 受注者は、工事着手前に配置計画等 (配置人員、期間等)を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 ☐ 積上げによる算出 配置人員数 (人) (うち交通誘導警備員A (人)) (注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。) ☒ 交通誘導警備員の配置時間 (別途協議) ☒ 交通誘導警備員の配置期間 (別途協議) ☒ 交通誘導警備員配置の対象工種 (全工種) ☒ 既存施設あり ☐ 近接公共施設 (☐ 鉄道 ☒ 電気 ☒ 電話 ☒ 水道 ☐ ガス ☐ その他 ()) ☐ 近接施設 (☐ 擁壁 (☐ ブロック塀 ☐ 家屋 ☐ その他 ()) ☐ 現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 ☐ 工法制限あり ☐ 制限を受ける工種 () ☐ 制限内容 () ☐ 安全防護施設等の配置 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 保安要員の配置 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☒ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 ☒ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。 ☒ 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。 ☐ その他 ()
工事用道路関係	☐ 一般道路 (搬入路)の使用制限あり ☐ 仮設道路の設置条件あり ☐ その他 ()	☐ 経路及び使用期間の制限内容 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 使用中及び使用後の措置 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 用地及び構造 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 安全施設 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ その他 ()

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和3年4月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.2

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
仮設備関係	☐ 仮設備の設置条件あり	☐ 使用期間及び借地条件 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 転用あり (回) ☐ 兼用あり () ☐ その他 ()
	☐ 水替工（締切排水工）	☐ 施工条件の指定なし ☐ 施工条件の指定あり ① 水替工（締切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（締切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 ☐ その他 ()
	☐ 仮設物の構造及び施工方法の指定	☐ 構造及び設計条件 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 施工方法 ()
	☐ その他 ()	☐ その他 ()
建設発生土・産業廃棄物関係	☐ 建設発生土受入地の指定あり	☐ 受入地の条件 (☐ 別添図面 ☐ 運搬距離（L＝ km） ☐ 受入料金あり ☐ 受入料金なし ☐ 別途協議 ☐ その他 ())
	☒ 建設発生土受入地未定	☒ 受入地未定につき別途協議する。(☒ 暫定運搬距離L＝ 4 km、 ☐ その他 ())
	☒ 産業廃棄物の処理条件あり	☒ 産業廃棄物の種類 (☒ コン塊 ☒ アス塊 ☐ 木材 ☐ 汚泥 ☐ その他 ()) ☒ 産業廃棄物の処分地 (☒ 再生処分場 () ☐ 最終処分場 () ☐ 別添図書 ☐ その他 () ☐ 別途協議) 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目 () に記入のこと。】 ☐ 処分場の受入条件 () ☒ 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とするとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。
	☐ その他 ()	☒ 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。 ☐ その他 ()
工事支障物件関係	☐ 工事支障物件あり	☐ 支障物件名 (☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 有線 ☐ その他 ()) ☐ 移設時期 (☐ 令和 年 月 頃 ☐ 別途協議) ☐ 防護 () ☐ その他 ()
	☐ その他	☐ その他 ()
薬液注入関係	☐ 薬液注入工法等の指定あり	☐ 設計条件 () 工法区分 () 材料種類 () 施工範囲 () ☐ 削孔数量 () 注入量 () その他 () ☐ 工法関係 () 材料関係 ()
	☐ 提出書類あり	
	☐ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	
	☐ その他 ()	☐ その他 ()
再生材使用関係	☒ 再生材使用の指定あり	☒ 再生材の種類 (☒ 再生Asコン ☐ 再生路盤材 ☒ 再生クラッシャーラン ☐ 道路用盛土材 ☐ 再生コン砂) ☒ 再生材が使用出来ない場合の措置 (☐ 新材に変更 ☐ その他 () ☒ 別途協議)
	☒ 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	☐ 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	☒ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について	☐ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議。 (認定製品の品名： ☐ 盛土材 ☐ 埋戻し材 ☐ サンドクッション材 ☐ 上層路盤材 ☐ コンクリート二次製品 ☐ グレーチング ☐ その他 ()) ☒ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 (認定製品の品名： 間伐材製工用バリケード・看板・標示板)
	☐ その他 ()	☐ その他 ()

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和3年4月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.3

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
そ の 他	☐ 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり	☐ 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ）
	☐ 現場発生産品あり	☐ 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ）
	☐ 支給品あり	☐ 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ）
	☐ 盛土材等工事間流用あり	☐ 時期（令和 年 月 日） その他（ ）
	☐ 現場環境改善費適用工事	☐ 運搬方法（ ☐ 受注者で運搬 ☐ 受注者以外で運搬 ☐ 別途協議 ☐ その他（ ）） ☐ 引渡場所（ ☐ 別添図等 ☐ 別途協議 ☐ その他（ ）） 数量（ ） 運搬距離（L= km）
	☐ その他（ ）	☐ 現場環境改善の内容（率分）（ ） ☐ 現場環境改善の内容（積上）（ ） ☐ その他（ ）
適 用 条 件	☒ 適用条件	☒ 三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和3年4月1日）） ☒ 三重県公共工事共通仕様書 1-1-1-2 第22項中「電子メールなどの署名または押印が不要な手段により」とあるのは「電子メールなどにより」と、第26項「書面とは、手書き、印刷物等による工事打合せ簿等の工事帳票をいい、発行年月日を記載し、署名または押印したものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、提出、報告、通知が行われた工事帳票については、署名または押印がなくても有効とする。」とあるのは「書面とは、工事打合せ簿等の工事帳票をいい、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、提出、報告、通知が行われたものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いない場合は、発行年月日を記載し、記名（署名または押印を含む）したのも有効とする。」と読み替えるものとする。 ☐ 「土木構造物設計マニュアル（案） 編」を適用 ☒ 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン（平成31年3月）（一部改正：令和2年4月）を参考とする。 ☐ 「受発注者間の協議における回答予定日を明確にする取組」対象工事に係る特記仕様書 令和2年8月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「工事監理連絡会」対象工事に係る特記仕様書 令和2年8月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ※設計図書の照査完了後、実施について監督員と協議すること。 ☐ 支援技術者 1. 本工事は現場における現場技術業務を〔例示（公財）三重県建設技術センター〕に委託しているため、その支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場で立会、観察又は検測を行う際は、その業務に協力しなければならない。また、書類（施工体制点検、計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じなければならない。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しないものである。 2. 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合には、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 3. 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 4. 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者 ☒ 電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和3年4月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☒ デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合せ簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書に準拠すること
監督の区分 共通仕様書 第3編3-1-1-6 第6項、第10項 に規定する 表3-1-1(1)、 表3-1-1(2)	☒ 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となった場合は、全ての工種を重点監督とする。） ☐ 重点監督	重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 ☐ 全ての工種に適用する。 ☐ 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
電 子 納 品	☐ 工事完成図書（工事写真含む） ☒ 電子納品対象外	☐ 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 電子媒体の提出部数は、（ ☐ 2部 ☐ （ ）部）とする。 ☐ 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和2年8月改訂）を適用
地質調査の 電子成果品等	☐ 地盤情報データベースの登録の必要あり	☐ 検定及び登録機関（一般財団法人国土地盤情報センター（https://ngic.or.jp/）） ☐ 検定料金の計上（ ☐ A検定 ☐ B検定 ） （注：受注後、これにより難い場合は設計変更の対象とする。）
産業廃棄物税	☒ 産業廃棄物税	☒ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
コリンズ 作成・登録	☒ コリンズ（CORINS）の作成・登録	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設副産物・建設発生土情報交換システム	☒ 建設副産物情報交換システム ☐ 建設発生土情報交換システム	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。 ☐ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
下請関係 下請企業 次数制限	☐ 下請企業の次数制限	☐ 本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和3年4月

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.5

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等	☒ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等に関する特記	☒ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、以下により徹底を図るものとする。 1 工事の円滑な施工確保を図る観点から、本工事の現場等のみならず関係する会社・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い・うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。 2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件（以下「三つの密」という。）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いことから、建設現場等における朝礼・点呼や現場事務所等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所等での食事・休憩など、元請事業者をはじめ、下請事業者等の多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。 3 工事等の関係者が「特定警戒都道府県」から作業等に従事する必要がある場合は、受発注者で協議を行い、感染拡大防止のための適切な対応をとること。 4 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対象とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。 5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「工事の一時中止や工期の延長」が必要な場合には、監督員と協議を行うこと。 6 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者（以下「感染者等」という。）であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講じること。なお、感染者等であることが判明した場合は、本工事のみならず、受注者が本市と契約中の全ての工事について、一時中止の措置を行う場合がある。 7 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、施工条件、施工方法等に変更が必要であると認めるときは、津市工事請負契約約款第19条（設計図書の変更）の規定に基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとします。この場合において必要があると認められるときは、工期若しくは請負代金額の変更の対象とするものとする。
ワンデーレスポンス	☐ ワンデーレスポンスの実施	☐ 1 この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 なお、質問・協議等に当たっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。 2 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。 3 受注者は三重県公共工事共通仕様書「1-1-3 設計図書の照査等」に基づき、適切に設計図書の照査を実施すること。 4 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。 5 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
その他	☐ その他	☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津 市
令和3年4月